



Architectural drawings showing floor plans and elevations with dimensions and grid lines. A purple wireframe drone is positioned in the upper right corner.

# 改正 建設工事公衆災害 防止対策要綱

土木工事編 / 建築工事等編

安全・安心への社会意識の高まりと、近年の建設工事の災害事例や制度改正、施工技術の進展等を受け、建設工事公衆災害防止対策要綱を改正しました。



Point

1. 関係者が持つべき理念と責務を規定

Point

2. 近年の公衆災害事例をふまえた見直し

Point

3. 制度の改正や施工技術の進展等をふまえた見直し



詳しくは裏面をご覧ください



Architectural drawings showing structural details, elevations, and sections with dimensions and grid lines.

# 改正でここが変わりました

## Point 1

### 関係者が持つべき理念と責務を規定



#### 理念・責務を明確化

建設工事に関係する者は、関連法令及び当該要綱を遵守すべきことを明記。さらに、当該要綱を守るのみならず、より安全性を高める工夫や周辺環境の改善等を通じ、万全を期さなければならないことを規定



#### リスクアセスメント

工事に先立ち、リスクアセスメントによって公衆災害の危険性を特定し、当該リスクを低減するための措置を自主的に講じる(措置により危険性の低減が図られない場合は施工計画を協議する)ことを規定



#### 設計段階での配慮・情報の伝達

工事の設計に当たっては、現場条件を調査した上で、施工時における公衆災害の防止に配慮しなければならないことや、施工者等に必要な情報を十分に伝達することを明記



#### 適切な工期の確保・公衆災害防止対策経費の確保

適切な工期や費用について設定・確保するとともに変更事項についても必要に応じて工期や経費の見直しを検討することを規定

## Point 2

### 近年の公衆災害事例をふまえた見直し



#### 埋設物の確認・保全措置

施工前に埋設物管理者等が所有する資料(台帳等)と設計図面等を照合することを明記



#### 架線接触の事故防止措置

架線、構造物等に近接した作業時における具体的な措置について規定するとともに、その情報を作業員等に確実に伝達することを規定



#### 解体工事中の事故防止措置

解体対象建築物の情報を可能な限り施工者に提供し、構造的に自立していない部分や異なる部分の解体について対処を明記



#### 河川航行時の事故対策

河川航行中等における、建設資材等の運搬中の公衆災害の防止措置を規定



#### 建設機械の施工・移動時の措置

建設機械の移動及び作業時における措置について、転倒や転落または接触による損傷事故を防止するため、より具体的に規定



#### 足場等作業時への事前の備え

「足場等の仮設の組立・解体時」に対しては、事前に危険性評価等を行うとともに、災害の発生リスクが高くなる「資材の上げ下ろし作業」は、原則、作業現場内で行うこと等を規定



#### 荒天(強風等)時への事前の備え

あらかじめ荒天時(強風、豪雨、豪雪等)の具体的な措置(作業中止の基準、作業中止時の具体的な措置)を定めることを規定

## Point 3

### 制度の改正や施工技術の進展等をふまえた見直し



#### 無人航空機の落下事故対策

建設現場におけるドローン等の操作を行う場合における、公衆災害の防止措置を規定



#### 建設機械のレンタル化への対応

レンタル(持込み)建設機械を使用する場合、必要な点検整備がなされていることを確認することを規定



#### 高齢者・車椅子使用者等への対応

工事の実施にあたり、やむを得ず歩行者の通行を制限する場合には高齢者や車椅子使用者等にとっても安全な歩行用通路を確保することを規定



国土交通省

大臣官房 技術調査課  
土地・建設産業局 建設業課

TEL:03-5253-8111